

wish ●●● ウィッシュ

前橋市手をつなぐ育成会報

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>
 メールアドレス info@m-teotunagu.moo.jp

発行所
 前橋市手をつなぐ育成会
 前橋市東上野町459-1
 前橋市立前橋特別支援学校内
 TEL027-260-3001
 発行人 原澤 正光
 印刷所 マルエー印刷
 TEL 027-232-1684



前橋市地域生活支援拠点等の基本的な整備方針について

会長 原澤 正光

障害者の高齢化、重度化、親なきあとなどを見据え、障害者（児）の地域生活支援を促進する観点から、生まれ育った地域、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように様々な支援を途切れることなく提供できる仕組みを構築していくことの必要性は言うまでもありません。

前橋市では、2018年度から2020年度の3か年を計画期間とする第5期前橋市障害福祉計画において、拠点等の整備について、2020年度の成果目標として1か所以上の設置を目標としています。2018年度から前橋市自立支援協議会に地域生活支援拠点整備部会を設け、拠点等の整備に向けた検討を行い、2020年度末までに整備する拠点等の当初の実施体制等について基本的整備方針（案）の性格を取りまとめました。今後検討を進める各機能の具体的な実施体制等の仕組みづくりの骨格となるものですので、皆様と共に考えていきたいと思い今回の会報WISHでも主な内容を取り上げてみました。

○拠点等の整備類型等

- * 前橋市が目指すべき拠点等の整備類型は、市内に現存する複数の事業所が分担し、拠点等に必要機能を担う「面的整備型」として整備する。各機能の不足する部分については、既存事業所等への機能付加または強化を図り対応する。
- * 拠点等の機能のうち、特に緊急時の相談支援及び短期入所、体験の機会・場の提供体制について充実・強化を図る。
- * 拠点等による相談及び短期入所等のサービス提供は、緊急時における例外的なサービス提供であり、緊急時以外は通常のサービス等利用計画等によるサービス提供とする。
- * 拠点等における「緊急時」とは、①常時支援が必要な障害者等が、何らかの事情によって介護者が不在になった時、②強度行動障害等、障害者等の状態変化により家庭での対応が著しく困難になった時と定義する。

○機能別の基本的整備方針

- * すべての委託事業相談所にコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に登録した上で、常時の連絡体制を確保し、緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う。
- * 短期入所等を活用した常時の緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障害者の状態変化等、緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う。
- * 施設等や親元からの自立等に当たって、一人暮らしの体験の機会・場を提供する。
- * 医療的ケアを必要とする障害者等や強度行動障害のある障害者等に対して、専門的な対応を行うことができる人材の養成については、引き続き群馬県がその役割を担うことになるので、前橋市における人材確保のため、研修への推薦等送り出しの支援を行う。
- * 地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能については、引き続き前橋市自立支援協議会において、関係機関や団体と連携し、地域課題の整理と新たな社会資源の開発について検討を行う。

地域生活支援の問題に限らず、皆様方と一緒に考え活動していきたいと思っています。今年度もたくさんご意見やご要望をお待ちしています。

「保護者交流会」

正式には、「前橋市内知的障害児（者）関係機関保護者会等交流会」という大変長い名称がついている会合（略して「保護者交流会」と呼んでおります）ですが、気がつけばスタートしてから、もう11年の歳月が流れました。

前橋市内で知的障害児（者）を支援されている福祉サービス事業所の保護者会や、特別支援学校のPTAの代表の方々などに声をかけさせていただいて、前橋の障害福祉の課題や、各事業所や学校の中での課題などを集約したり、交流を深めていく中で、前橋市内の障害福祉や障害児教育が、より良き方向に進んでいくための推進力になれば良い、などとも考えて、当初は「連絡会」という名前でスタートしたのが、平成20年7月でした。

それから、年に2～3回ぐらいのペースで開催し、毎回十数団体から代表の方を送りだしていただき、前橋育成会の事務局もあわせて20～30名前後の皆様と約2時間弱、様々なお話をさせていただいてきました。

前橋市内には、知的障害児（者）を支援する障害福祉サービス事業所や、福祉作業所、特別支援学校等の関係機関が約40カ所以上あることから見れば、決して参加率は良いとは言えないのですが、それでもこの11年間、ずっと出席でご協力くださっている事業所もいくつかあり、この会を継続している意義をご理解いただけているのでは、と心強く感じています。

そう思うと、せっかくご参加いただいた皆様に、せめて何か「おみやげ」となるような、「情報」であったり、「感動」とまでは言えないまでも、一種の「安心感」や「期待感」のようなものを、お持ち帰りいただきたいとの思いを持って続けてきました。

毎回の流れとしては、国の障害福祉の最新情報や、先進地域の取り組み情報などを提供した後に、参加者の方に、それぞれの団体や生活の中で日頃感じている喜びや悩み、困りごとなどといったものをお話いただき、その中で挙げられた話題についての意見交換をさせていただこう、と進めているのですが、実際には、各団体や各自が抱えている課題を紹介しあうだけで時間が終わってしまうこともあり、なかなかそこから解決への糸口を見つけ出せるようなところまで、議論を深めていくようなことは出来ていないのが実情です。

お互いがその状況の大変さに共感し、それを克服していくための社会資源やマンパワーが、この街にはまだまだ不足しているという現実を、あらためて認識しあう、そのレベルまでで、立ち止まってしまっている感がありますが、だからこそこういった機会を積み重ねて、出来る限り「生」の声を集約していくことが、行政などに働きかけを行っていくエネルギーの蓄積につながるのだとも考えています。

また、この会の特徴として、幅広い世代の方にお集まりいただいているので、その中で、先輩のお母さんが、若いお母さんの悩みに対して、自身の経験を基に助言されるような場面はしばしば見られて、ちょっとした「勇氣」をお持ち帰りいただけているのではないかと思います。

前橋という街が、障害の有無にかかわらず、安心して活き活きと暮らし続けることができる地域になるようにするためには、この地域の中に存在する様々な課題にしっかりと気づき、みんなで向きあって考えていくことが、最初の一步になると思います。

この交流会をそのための、一つの大切なアイテムにしていけるよう今後も継続して行きますので、是非とも多くの団体から、一人でも多くの方にご参加いただけることを心よりお願いいたします。（前川）

疑問に感じていることと将来への夢や不安などなど気楽にお話してみませんか？

本会が、ほぼ毎月1回開催している「おしゃべり交流会」をご存じですか？ 毎月、様々なテーマについて、担当者が持ってきた資料を見たり、提案などを聞きながら、思うことをぶつけ合ったり、それをきっかけに日頃抱えたりしていることを語り合ったりする場として始めた、気楽なおしゃべり会です。今年度の月別テーマが決まりました。興味あるテーマの時に気楽に参加して、みなさんと楽しくおしゃべりをしに来てください(^^)／

毎月概ね第2火曜日 時間／10:00～12:00 会場／前橋市総合福祉会館 子育て研修室(前橋市日吉町)

実施日	テーマ
5/14	発作の時、パニックの時、みなさんどうしてますか？
6/未定	私たちの街の障害福祉
7/9	夏休み オススメスポット特集！ (^)／
9/17	お医者さんとのつきあい方
10/8	親なきあと相談会（拡大版）
11/12	みんなで書こう！『ぐんまちゃん安心ノート』
12/10	将来のお金のこと、ちゃんと見つめて準備してますか？
2020年 1/⑦→14	らんだむとーきんぐ
2/18	どこまで期待できるの？ 地域生活支援拠点
3/10	グループホームでの生活を考える

問い合わせ・申し込み先①：メールアドレス（出来るだけこちらをお願いします）

info@m-teotunagu.moo.jp

問い合わせ・申し込み先②：携帯TEL（Eメールを利用されていない方のみ）

080-3128-5522（担当者：前川）

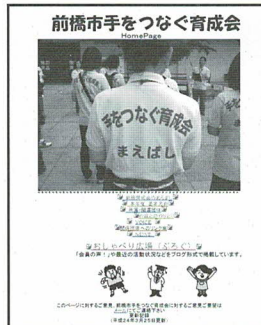
前橋市手をつなぐ育成会（令和元年度）
「おしゃべり交流会」（概要版）

4/9



前橋市手をつなぐ育成会 主な活動のご紹介!

- ・会報『wish』の発行
- ・福祉パレード
- ・Webを活用して本会の活動を
紹介。又、前橋の福祉環境等に
ついて会員からの意見を公開



[ホームページ]
<http://m-teotunagu.moo.jp>

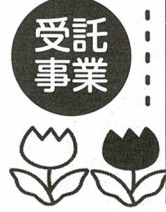
[ブログ「前橋市手をつなぐ育成会
おしゃべり広場」]
<http://plaza.rakuten.co.jp/maebasiikusei>

「おしゃべり交流会」って?
毎月、様々なテーマについて、情報交換をしながら、思うことをぶつけ合ったり、それをきっかけに日頃抱えている悩み事などを語り合ったりする場です。
皆様のご参加をお待ちしております。(^^)/
○毎月概ね第2火曜日 10:00~12:00
前橋市総合福祉会館 1F
子育て研修室等にて実施
(詳細は別表参照)

- ・大会や保護者研修会等への参加促進
- ・施設見学会
- ・おしゃべり交流会の開催
(概ね毎月第2火曜日)



- ・県育成会より「レクリエーション活動推進事業」を受託して、実施しています。
「料理教室」「ハイキング」



☆その他にも、本人や家族の会の活動助成、学校や事業所のPTAや保護者会の皆さんとの意見交換会、会員の皆さんの意見集約と陳情等の行動、などなど、心身に障害のある方やその家族が、地域の中で安心して生き生きと暮らしていけることが出来るように、様々な活動を行っています。詳しくは会報やWebにてご案内しております。

会員になって 本会の活動をご支援ください!

本会は、本人・家族・支援者の皆さんに年会費101000円で会員になっていただき、その会費をもとに様々な活動を行っています。学校や福祉サービス事業所等を通じて入会申込書を配布しておりますので、是非とも今年もご入会いただき本会の活動に、ご参加・ご協力いただけますようお願い致します。入会申込書が手元に届いていない方や詳しい資料等が必要な方は、下記にご請求ください。

◎お問い合わせ・資料請求先 (返信先等を明記の上、下記までご連絡ください。)

E-mail: info@m-teotunagu.moo.jp FAX: 027-288-8430
〒379-2164 前橋市東上野町459-1 前橋市立前橋特別支援学校内 前橋市手をつなぐ育成会事務局



農業・医療福祉連携のモデル的取り組みである「農福連携ネットワーク」の構築により、地域農業が抱える課題の解決また障がい者就労と農業・農村の活性化を推進したいとの思いから、20年前から始められた法人です。法人代表の小暮明彦様からのお話しでは、農業は素人では難しい事が多く、様々な失敗を乗り越え工夫をしてやって来られたそうです。そんな工夫と努力に感動いたしました。1.3ヘクタール（甲子園球場グラウンド分）の農地に光、トラクターなどの農機具が入り易いよう、ソーラーパネル2,100枚を3m

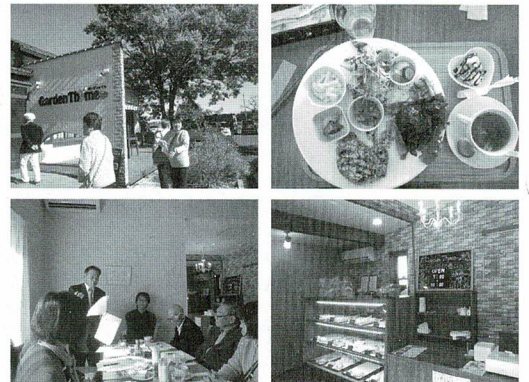
の高さに設置し、タマネギ、里芋の栽培を行っています。

前橋市内のかなり広めの耕地にソーラーパネルが立ち並び、障害者が土に触れ、草取り、植え付け、野菜を収穫し、ソーシャルファームを目指して、障害のあるの方達が作業をされています。

心に豊かにしみ込み、癒され、力強さをもって働く、素晴らしい場所です。そこで穫れた野菜をふんだんに使ったランチを皆さんといただいて来ました。

障害者の為に様々な研究をし、失敗を繰り返し、利用者さんの心を健康に保ち、働く喜びを得る。そんな素敵なガーデンタイムに皆さまも是非足を運んでみてください。（関口・高山）

住所：前橋市荒子町字堤下109 TEL：027-226-6660



合同作品展を終えて

群馬大学教育学部附属特別支援学校 教諭 山田 茅 穂

平成31年1月31日（木）～2月3日（日）に前橋市中央公民館3階ホワイエにて、第50回前橋市内特別支援学級・特別支援学校児童生徒作品展が開催されました。児童生徒が一生懸命作った作品が数多く並び、来場された方も見入っていました。作業製品販売では、来場された方を迎える「いらっしやいませ」の元気な声が響き、子どもたちが心をこめて作った製品を多くの方に購入していただきました。

本校からは、小学部、中学部、高等部の児童生徒が作った絵画や書道作品、コラージュなど、51点を展示しました。どの作品も力作で、自分たちが作った作品が飾られているのを見て嬉しそうにする子どもたちの姿がありました。また、中学部が作ったカルトナージュ製品や高等部が作ったハーバリウム製品を販売しました。製品を購入された方の「すごいですね」「きれいですね」という感想や、嬉しそうな表情に、生徒たちも満足そうにしています。今後も、たくさんの方とかかわって学ぶことのできる合同作品展の機会を大切にしていきたいと思えます。



編集後記

平成最後の会報です。
 新年度最初の号なので、育成会の活動紹介等を掲載させていただきました。
 皆様のご参加をお待ちしています。
 今年度もよろしくお願いたします。
 （廣瀬）

お知らせ	前橋市手をつなぐ育成会総会	令和元年5月31日(金) 前橋市総合福祉会館
	群馬県手をつなぐ育成会大会	令和元年7月27日(土) 藤岡みかぼみらい館
	福祉パレード	令和元年9月10日(火) 群馬県庁・前橋市役所